

観光安心通信

令和3年7月15日号

県では、県内での新型コロナ感染症の感染事例における「感染拡大に影響があると推測される事項」を記者発表資料等から抜粋するなど事例を紹介し、改めて、各施設等における感染症対策の確認をしていただけるよう、月2回「観光安心通信」を発行し、情報提供しています。事例(推測される事実)の御紹介になりますが、是非、御一読いただき、参考にしていただければ幸いです。

事例1 7/2発表 国家公務

感染対策は適切に講じられていたが、近接した距離で会話をしている状況が感染拡大に影響があったと推測される。

事例2 7/3発表

サービス業(洗濯・利用・美容・浴場業)

マスクを着用しないで、飲食をしている状況があった。

事例3 7/8発表 運輸サービス業

換気が十分でなく、マスクを外して勤務する状況があった。

事例4 7/14発表 大学

室内での部活や実習中のマスク未着用、不十分な換気及び物品の共有があった。

※ このほか、調査中の施設が1件ありました。

引き続き、8月31日までは、「リバウンド防止徹底期間」となっていますので、感染防止対策に御協力をお願いします。

飲食時の感染リスクについて

現在、飲食店だけでなく、個人宅や職場・屋外作業の休憩時において、複数の人数がマスクを着用せず飲食したことにより感染が拡大したと思われる事例が確認されております。政府が示している「感染リスクが高まる5つの場面」とおり、大人数での飲食は、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、屋内外を問わず感染リスクが高まります。

個人宅や職場・屋外作業の休憩時の黙食、会話時のマスク着用の徹底、体調が悪い人は参加しないなどの「感染リスクを下げる工夫」を実践していただきますようお願い申し上げます。

発行：宮城県観光政策課・観光プロモーション推進室
公益社団法人宮城県観光連盟

【お知らせ】宮城県では、新型コロナウイルス感染症への対策を行っている施設に、「新型コロナ対策実施中！ポスター・ステッカー」を配布し多くの施設に参加していただいています。登録が未だの施設は是非、御検討ください。詳しくは、宮城県観光連盟HP (<https://www.miyagi-kankou.or.jp>)を御覧ください。